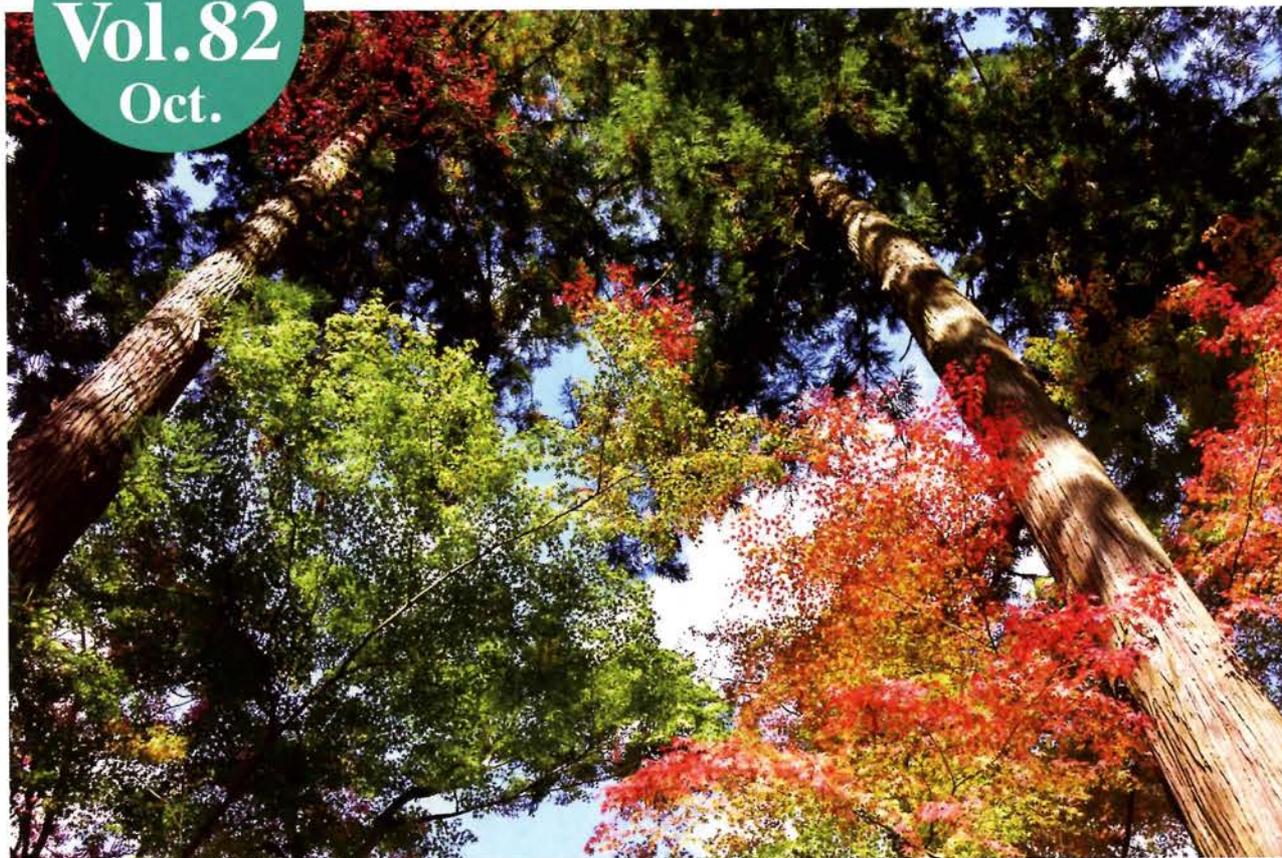


ひろしまの緑

発行 公益社団法人広島県みどり推進機構

2019
Vol.82
Oct.



平成 30 年度林業・環境緑化写真コンクール応募作品
タイトル：「森の信号機(コントラスト)」
撮影者：齊藤 盛幸さん（広島市）

目次

「新しい木の時代」—都市の木造化—	2
サルビアで花いっぱい 通学路と高齢者	3
第39回広島県緑の少年団交流集会を開催	4・5
緑の少年団活動状況	6
イベント掲示板	6・7
「フォレストアドベンチャー・広島」県立もみのき森林公園	7
広島県緑化ポスター原画コンクール	8

 緑の募金

『秋のキャンペーン』

(9月～10月)

ご協力を
よろしく願いたします

「新しい木の時代」——都市の木造化——

一般社団法人 広島県木材組合連合会 会長 菅野 康則



平素は本連合会の運営に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、十月に第五十三回全国木材産業振興大会広島大会を、全国各地から七百五十名の同志を迎え盛大に開催致しました。また、同じく十月には県議会において「広島県産木材利用促進条例」が全会一致で可決公布され、さらに、国ではそれに先立つ六月通常国会にて、森林環境税・森林環境譲与税の導入が可決成立し、本年四月より施行されています。

本年は、天皇陛下のご退位、改元とともに、まさに木材・林業再興元年に当たる年と言えますが、条例や法律の趣旨を具現化するには、まだまだ多くの解決しなければならぬ課題が山積しており、今からスタートすると言って過言ではありません。特に、木材の特徴である再生できる資源の側面を考へても、安定的に必要な規格の木材が、

必要な量だけ産出される環境には、半世紀以上にわたる継続した努力を要すると考えられます。高コスト構造の川上から川下までの多くが零細な事業者で構築されるビジネスフローを、補助金や支援が無くてもやっていけるビジネスとして自立する（儲かる）構造に改善するには、集中投資によるインフラ整備に加え、低コスト再造林技術の一層の開発や、森林の状況に応じた役割分担の明確化の他、森林管理者・林業技術者の育成、スギ・ヒノキ材の需要拡大策など、将来を見据えた新たな枠組みづくりが重要と考えられます。

広島県木連は、県内外の木材業者約三七〇社が集う団体であり、人にも環境にもやさしい木材の利用促進を通じて、木材産業の振興による本県経済の活性化と、循環型社会の形成、豊かな県民生活の実現への寄与を目的に活動しており、頻発する豪雨災害を少しでも

も軽減する為の森林再生と治山治水への過程と行動が、我々木材業界に与えられた課題でもあると受け止めております。

さる五月十三日、全国の関係団体・企業、地方公共団体等による「森林（もり）を活かす都市（まち）の木造化推進協議会」が設立されました。都市の木造化は森林・林業再生に向けた大きなチャンスであり、県木連としても、二酸化炭素を固定し再生可能な自然資源である木材の積極的な利用に繋げるため、森林・林業再生への力を握る都市の木造化に全力で取り組んで参ります。

本年度は新たに、住宅や商業施設等の塀やウッドデッキなどの外構部の木質化対策に取り組むとともに、木材業界の人材育成を目指して「ミラノサロ―ネ視察研修」を四月に企画実施したところ です。

また、引き続き「木育」を通して人材を育てるため、「ひろもくデザインアワード」による、夢ある木製ベンチのデザイン募集や、「木のおもちゃ」の貸出し、様々な講演会・研修会の開催、合法木材や品質・性能が明確なJAS製材品の普及など多くの事業を通じて、「木のまちづくり」や「木の文化」の復権に、行政や関係団体等との連携を密に、取り組んで参りますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



サルビアで花いっぱい 通学路と高齢者

呉第2地区まちづくり委員会 会長 城 健康

呉第2地区まちづくり委員会では、「人と人がふれあい にぎやかで やさしい 元気のある街づくり」をスローガンとして、地域住民の交流や世代間の交流に取り組みしております。

第2地区は市街地を経て山の中腹に至る、住宅地で構成され、傾斜地の中間に地域の小学校があります。その小学校児童及び保護者と地域住民参加のもと花の栽培を行い、身近な環境緑化、自然観察学習の場として利用し、地域間及び世代間交流の輪を広げることが目的として取り組みました。

サルビアの花は五月から花を咲かせ日当たりの良い場所で、毎日水やりを

続ければ十一月頃まで咲き続けるということで採用しました。

初年度（平成三〇年度）は小学校児童保護者及び通学路に面する地域住民から参加者を募集。一〇九名、プランター二五五個の申し込みがありました。

六月の初め、プランター、サルビアの苗、培養土を準備、小学校の体育館を借りて「サルビアの育て方」の講義を行った後体育館の前と校庭を使って、参加者協働で、プランターに培養土を詰め込み、サルビアの苗を植え、地域ごとに集め、数の揃ったところから持ち帰り、通学路に配置しました。

人や車が入りする所は置くことが

できず、疎らな感じであるが途切れることなく配置できました。

夏に水やりを怠ると枯れてしまうことがあり、毎日通学路で世話をするこゝとで児童を見守る活動になっていきます。日当たりがよく、水やりや手入れの良かったものは翌年の二月頃まで咲き続けました。

二年目（令和元年度）は呉市第2地区自治会の全世帯に募集のチラシを配布し、特に高齢者の家庭に声掛けをして参加者を募集しました。また、昨年の参加者には昨年使用したプランターを持参するようにしました。

一五一名、継続使用したプランター二〇九個、新規手配したプランター一五〇個、計三五九個のプランターに対し、サルビアの苗、培養土を準備、事前に行う講義「サルビアの育て方」の内容を昨年の経験を加え改訂。六月

初旬昨年と同様小学校の体育館と校庭を借りて、サルビアの苗の植え付けを行ったプランターを持ち帰り、道路に面して配置しました。

高齢化、少子化の進む山間地まで配置することができました。また、疎らな状態です。

サルビアの花が満ち溢れる通学路を目指し、サルビアの花を通して世代間の交流が進み「人と人がふれあい、元気のあるまちづくり」に繋がるよう、今後も継続して取り組みます。



「サルビアの育て方」の講義



サルビアの苗・培養土・プランターを準備



小学校体育館前で苗植え準備



サルビアの苗植え作業



苗植え完了したものを各自治会ごとに数を揃え各家庭に配送



小学校校門からの通学路

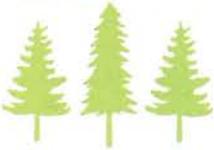




第39回 緑の少年団交流集会在開催されました!

今年も広島県緑の少年団連盟30団の中から4団が集まりました。台風や梅雨前線の影響で連日雨が続き、開催が心配されましたが、当日は天候も回復し、絶好のキャンプ日和となりました。さまざまな自然体験活動を通じて少年団同士が交流し、緑と親しみました。

- 日時 令和元年7月25日(木) 12時00分～26日(金) 14時30分
- 場所 県立もみのき森林公園(廿日市市吉和1593-75)
- 主催 広島県緑の少年団連盟
- 共催 公益社団法人広島県みどり推進機構、広島県
- 後援 広島県教育委員会
- 参加団 広島市みどりの少年団、可部南グリーンズ緑の少年団、切串緑の少年団、筒賀小学校緑の少年団
- 参加者 4団49名 引率12名 OB(中高生)7名 スタッフ23名 計91名



開会式



広島県緑の少年団連盟の佐々木会長と、もみのき森林公園の谷村理事長による開会の挨拶でスタートしました。安芸太田町の筒賀小学校緑の少年団の八名から「緑の誓い」が宣誓されました。



学習プログラム 名札づくり



輪切りにしてあるリョウブの木に丁寧に紙やすりをかけ名前を入れて、オリジナルの名札が完成。



学習プログラム アイスレク



おなじみ県北野外活動協会の出番です。「もうじゅうがりにいこうよ」などのゲームや歌を楽しんだ後、班ごとに分かれて自己紹介や班長を決めました。



学習プログラム テント設営

OBやスタッフのサポートを受けながら、組み立て作業を進めました。



学習プログラム 班旗づくり

短時間で見事な仕上がりに、皆でアイデアを出し合い、キャンプファイヤーや翌日の朝の集い時に旗を披露し、旗にこめた思いを発表しました。



炊さん夕食



火つけに苦戦も、調理は慣れた手つきで、あっという間に出来上がり！



キャンプファイヤー



どの班のスタンツも楽しく、大盛り上がり。満天の星の下、歌い、躍り、笑い合つて、友情を深めました。

お昼にこの会が始まった時は緊張ぎみだった皆も、キャンプファイヤーのころにはすっかり打ちつけた様子。

28日

七月二十六日金

朝の集い朝食



二日は霧に包まれた中でのスタートとなりました。朝の挨拶、体操、班旗の発表をして朝食です。

学習プログラム アスレチック



楽しそうな声が森の中に響きます。大人も子どもも一緒に、全力で遊びました。

学習プログラム 林業体験



ひろしま人と樹の会に指導していただきました。まず指導員によるデモンストレーションが行われ、伐つた木の高さを当てました。正解は十二・四m。ピタリ正解を当てた団員には賞品が贈られました。

各班に分かれて森へ入り、木を伐りました。手ノコの扱いにも次第に慣れ、上手に伐ることができました。



お別れ会 閉会式



スタンツ、班旗、樹高クイズの優秀賞が贈られました。お別れ会では輪になって、全員ひとことずつ交流集会の感想をのべました。「はじめは初めて会った人とうまくやっていたか不安だったけど、皆で楽しくできてよかった」「まわりと協力して動けた」「新しい友達ができただ」など。二日間たくさん仲間との交流を深め、成長できたようでした。最後は笑顔で解散です。「お疲れさまでした」「またね！」

緑の少年団活動状況

須波みどりの少年団
〔三原市〕

須波みどりの少年団は、平成二十二年に設立し、須波小学校の全校が団員に加入し、現在の団員数は八十一人です。少年団は、東側は瀬戸内海に面し、背後に筆影山がそびえる風光明媚な三原市須波地域で、年間を通じて次のとおり活動しています。

学習活動

花の栽培

全団員が年間を通じて行う緑化活動は、栽培委員会を中心に日常活動として水やりや草取りなどを行っています。

四年生は、自分の観察する木を決めて、絵をかいたり、年間を通じて観察を続けたりすることで、成長を確認することができました。



海辺教室

四年生を対象に、公衆衛生協議会の方々の指導を受けながら、須波の海の生き物調査を行い、採取した生き物の種類や数で、海の水質が保たれているかどうか調査しています。その結果、須波の自然が守られているかどうか確認

することが出来ます。

低学年は、海辺で貝殻や生き物を探取することを通じて、須波の自然に興味を持ち、どこにどんな生き物が生息しているのかを知る学習を行っています。



奉仕活動

クリーン活動

年二回、クリーン活動をしています。一回目は、少年団と地域の中学生生徒会と共に、地域の主な場所の清掃を行っています。

二回目は、保護者と共に、通学路を中心に駅、海浜や公園の清掃を行っています。この活動により、自然の移り変わりや自然を守る大切さを感じることが出来ます。また、保護者は、児童と共に活動することで、環境保全への理解につながり、地域の協力も得られるようになります。活動の輪が広がっています。



レクリエーション活動

登山・自然観察

毎年、児童会行事として春の遠足で、

瀬戸内海国立公園「筆影山」へ登山を行っています。中腹まで登ると、母校が瀬戸内海に寄り添うよう佇んでいる姿を見ることが出来ます。自然を満喫しながら頂上まで異学年交流班で一緒に登っています。

三月には六年生のみが「お別れ遠足」として、登山を行っています。樹木や草花を観察したり、ゲームを行ったりと。下山時には、これまで先輩たちが作成した看板を一つ一つ確認し、環境保全を呼び掛ける看板が、登山者の目に留まることを願っています。



長期宿泊体験学習

五年生は、大和町で三泊四日の宿泊体験学習を行っています。大和町のご家庭にお世話になり、ホームステイさせて頂いています。大和町は、山に囲まれた地域なので、海辺に近い須波町との気候やくらしの違いに気付くことが出来ます。

期間中は、乗馬体験、座禅体験、木工・竹細工、野菜収穫など、日頃学校では経験できない貴重な体験を通じて、楽しみながらたくさんのお話を学ぶことが出来ます。



行事名	実施日	料金	申込(期限)	内容
県立もみのき森林公園	TEL 0829-77-2011	廿日市市吉和	http://www.mominoki.or.jp/	
森のフェスティバル	10月6日(日)	一部有料	一部要予約	やってみよう森のボランティア、親子でピザ作り、わくわくロケット教室、森のネイチャーゲーム、森のクラフト教室、もちまき等
広島県立中央森林公園	TEL 0848-86-9101	三原市本郷町	http://www.chuo-shinrin-koen.or.jp/	
もみじまつり	11月1日(金)～24日(日)	入園料 310円(大人)	不要	1年で最も美しい晩秋の日本庭園を楽しめます
ノルディックウォーク体験会	11月13日(水)	1,000円	必要(11/8)	秋の気配の三景園を歩こう
あじさいリース作り	11月30日(土)	2,500円	必要(11/25)	あじさいのドライフラワーでリース作り
初日の出 参拝	2020年1月1日(水・祝)	未定	不要	絶景ポイントで元旦を迎えましょう!

フォレストアドベンチャー・広島



県立もみのき森林公園（廿日市市吉和）



この施設は、立木をそのまま利用した高さ最大十四mの樹上に設置されたコースを、専用のハーネスを着用し遊ぶ自然共生型森林冒険施設です。

フォレストアドベンチャーの最大のポイントは「自分の安全は自分で守る」ということです。大人も子供も条件は同じです。樹の上で、自ら安全器具を操作し、自分で安全を確保しながら進んでいきます。それが最大の魅力となっています。ここでは「大人は子供に戻り、子供は大人になる」という他では出来ない体験が待っています。

コースは二種類あり、一〇〇cm以上のお子様から体験できるキャノピーコースと小学四年生もしくは、一四〇cm以上のお子様から体験できるアドベンチャーコースがあります。子供から大人まで、家族や友達、カップルで一緒に楽しめるパークになっています。

電話番号：〇八〇〇二二八〇三三〇
お気軽にお電話ください。



イベント掲示板 (10月～12月)

行事名	実施日	料金	申込(期限)	内容
広島県緑化センター TEL 082-899-2811 広島市東区福田町 http://ryokka-c.jp/				
秋のきのこ入門観察会	10月6日(日)	無料	先着20名(9/1~)	講師と一緒に園内を散策しながら発生しているきのこの説明を聞きます
10月の自然探勝	10月14日(月・祝)	無料	自由参加	秋の草花と木の実の観察 ※ルーペ持参
シダの学習会No.2	10月14日(月・祝)	無料	自由参加	野外でシダの観察 ※ルーペ持参
果樹の手入れ(秋)	10月18日(金)	無料	自由参加	秋の手入れを学ぼう
どんぐりクッキング	10月19日(土)	無料	先着30名(9/1~)	どんぐりクッキーを作ろう
秋のきのこ教室	10月20日(日)	無料	自由参加	園内で自由にきのこを採集して名前や食毒を知ろう ※採集用のカゴ持参
秋のハイキング~立石山を歩こう~	10月22日(火・祝)	無料	自由参加	身近な里山の秋を観よう
もみじ祭り	10月26日(土)~ 11月17日(日)	-	-	期間中はシンボルツリーであるオオモミジをはじめとした園内の木々が次々と紅葉します。紅葉スポットをまわるクイズラリーも開催します。
つづらふじでカゴ作り	10月26日(土)	材料費1,500円	先着15組(9/1~)	曲げても折れないつづらふじでカゴを作りましょう
第6回 ひろしま遊学の森こども写生大会	10月26日(土)	無料	自由参加	秋の緑化センターを描こう 対象:小学生以下 画材持参(画用紙以外)
秋のバードウォッチング	10月27日(日)	無料	自由参加	園内を歩きながら秋の野鳥を観察しよう ※双眼鏡持参
松の手入れ(秋)	11月1日(金)	無料	先着20名(10/1~)	松のもみあげを実践しよう ※剪定鋏・手鋸持参
11月の自然探勝	11月6日(水)	無料	自由参加	園内を歩きながら植物を観察します ※ルーペ持参
もみじ祭りお楽しみイベント	11月10日(日)	一部有料	一部要予約	クイズラリーやネイチャーゲームなど紅葉狩りをしながら家族みんなで楽しめるイベントです。
秋の写真教室	11月13日(水)	無料	先着20名(10/1~)	秋を写そう ※カメラ持参
整枝・剪定講座	11月23日(土・祝)	無料	先着20名(10/1~)	基本をしっかり身につけよう ※剪定鋏・手鋸持参※見学不可
クリスマスリース作り	12月1日(日)	材料費500円	先着30名(11/1~)	自然素材でリースを作ろう(直径40cm以下でお願いします)
第3回ひろしま遊学の森「四季の移ろい」写真コンテスト公開審査	12月12日(木)	無料	自由参加	公開審査を行います。写真の応募締め切りは11/30です。
樹木講座~冬の樹木観察~	12月13日(金)	無料	自由参加	室内で枝葉を見て学び、識別テストに挑戦しよう ※ルーペ持参
しめ縄作り	12月20日(金)	材料費700円	先着20組(11/1~)	自作のしめ縄で新年を迎えよう
ミニ門松作り	12月21日(土)	材料費1,000円	要予約先着15組(11/1~)	正月飾り作りを体験しましょう

令和元年度

広島県緑化ポスター原画コンクール 応募多数の中から入賞作品が決定しました!

次代を担う子供達が、森林の持つ役割、緑を守り育てることの意義・必要性を学び、考えるきっかけとなるよう、広島県緑化ポスター原画コンクールを昭和二十八年から実施しています。本年度も、公益社団法人広島県みどり

推進機構の主催、広島県、広島県教育委員会との共催により開催しました。県内九十六校から一、三三〇人の参加者があり、九月十七日に審査会を開催し、次のとおり入賞者が決定しました。(順不同、敬称略)

◎特選 (広島県知事賞)

◆小学校の部
中田 龍希 (広島市立戸山小学校二年)



◆中学校の部
寺田 夢萌 (広島市立高陽中学校二年)



◎入選 (広島県教育委員会賞)

◆高等学校の部
齊藤 美波 (広島県立廿日市高等学校二年)



◆小学校の部
石田明日香 (尾道市立山波小学校一年)
鎌田 穂 (広島市立伴小学校二年)
岡村 歩美 (海田町立海田小学校三年)
田中 佑芽 (広島市立安小学校四年)
田中 蒼真 (広島市立草津小学校五年)
加藤 舞 (広島市立五日市中央小学校六年)

◆中学校の部
川崎 遙大 (福山市立鷹取中学校一年)

増原 史希 (庄原市立庄原中学校二年)
山床 謙心 (呉市立広中央中学校三年)
◆高等学校の部
白崎 鈴奈 (広島県立熊野高等学校二年)

◎佳作 (公益社団法人広島県みどり推進機構理事長賞)

◆小学校の部
馬明 柊至 (広島市立伴小学校一年)
村上 凜多 (広島市立伴南小学校一年)
加藤 未衣 (広島市立五日市中央小学校一年)
森 陽紀 (福山市立伊勢丘小学校二年)
金信 妃優 (広島市立川上小学校二年)
東 莉瑚 (広島市立五日市中央小学校三年)
石井 玲凪 (広島市立伴南小学校三年)
門田 侑真 (広島市立比治山小学校三年)
松田 大和 (広島市立竹屋小学校四年)
御堂内亜依 (広島市立五日市東小学校四年)
山中 大輔 (広島市立下黒瀬小学校四年)
米廣 和音 (広島市立五日市東小学校五年)
西村 美愛 (広島市立安東小学校五年)
藤縄あのん (広島市立安小学校五年)
木村 文音 (広島市立緑井小学校六年)
竹内菜々子 (広島市立伴小学校六年)
藤林 夏葵 (広島市立三篠小学校六年)

◆中学校の部
大森 琉夏 (広島市立安芸津中学校一年)
蒔田 結衣 (広島市立井口中学校一年)
上野奈々未 (広島市立井口中学校一年)
中串 沙世 (世羅町立世羅中学校二年)
谷口 世那 (広島市立東原中学校二年)
竹次 叶多 (大竹市立大竹中学校三年)
新田 千穂 (広島市立白木中学校三年)
松岡 千尋 (呉市立広中央中学校三年)

◆高等学校の部
藤井 星名 (福山市立福山高等学校二年)
野路 萌佳 (広島県立廿日市高等学校二年)

◆特別支援学校の部
実森 陸綺 (広島県立福山北特別支援学校中学部二年)
有富 文暁 (広島県立福山北特別支援学校高等部一年)

緑の募金にご協力をお願いします

募金は次の口座でお受けしています。

- 広島銀行県庁支店 普通 1002210
- 郵便振替口座 01340-2-28817

口座名義はいずれも
公益社団法人広島県みどり推進機構

公益社団法人 広島県みどり推進機構

〒730-8511 広島市中区基町 10-52 県庁森林保全課内 TEL082-513-4840
E-mail info@green-hiroshima.or.jp
ホームページ http://www.green-hiroshima.or.jp

●●● 支 部 事 務 局 ●●●

広島市	広島市役所農林整備課	082-504-2752	安芸高田市	安芸高田市役所農林水産課	0826-47-4022
呉市	呉市役所農林水産課	0823-25-3317	江田島市	江田島市役所農林水産課	0823-43-1642
竹原市	竹原市役所建設課	0846-22-7746	府中町	府中町役場環境課	082-286-3244
三原市	三原市役所農林水産課	0848-67-6081	海田町	海田町役場都市整備課	082-823-9634
尾道市	尾道市役所農林水産課	0848-38-9212	熊野町	熊野町役場都市整備課	082-820-5608
福山市	福山市役所農林水産課	084-928-1033	坂町	坂町役場産業建設課	082-820-1512
府中市	府中市役所農林課	0847-43-7131	安芸太田町	安芸太田町役場産業振興課	0826-28-1973
三次市	三次市役所農政課	0824-62-6163	北広島町	北広島町役場農林課	050-5812-1857
庄原市	庄原市役所商工業課	0824-73-1124	大崎上島町	大崎上島町役場建設課	0846-65-3124
大竹市	大竹市役所産業振興課	0827-59-2130	世羅町	世羅町役場産業振興課	0847-22-5304
東広島市	東広島市役所農林水産課	082-420-0939	神石高原町	神石高原町役場産業課	0847-89-3337
廿日市市	廿日市役所農林水産課	0829-30-9148			

ひろしまの緑 82号 (令和元年10月1日発行) 発行 公益社団法人広島県みどり推進機構